

私も君たちと同じ南中学校に学んだ同窓生です。南中学校での生活は貴重な経験を与えてくれました。広い世代との関わり方、挑戦し続ける心、投げ出さない責任感。小さな学び舎は、私に大きな財産を与えてくれました。

中学時代の忘れられない思い出があります。

私が入学当時、男子生徒は坊主刈りと校則で決められておりました。入学を前に私は、校則を変えなければ南中学校には行かないと校長先生に詰め寄りました。先生は「君たちで決めれば良い。ただ、君たち先輩が校則を変えないんだよ」と。その後、入学した私も校則は変えませんでした。

20年以上を経過して再び訪れた南中学校には、今でも当時の校風が心地よく流れていました。自分の事しか考えられなかった私が、小さな学び舎で頂いた財産のおかげで大震災直後から故郷に戻れずにいる福島浜通りの方々に励ましを送る仕事をさせて頂いている。

今、故郷の学び舎がひとつの幕を閉じようとしている。時には、君たちの心を揺さぶる事もあるかもしれない。古今東西、青春時代の労苦なくして偉人と呼ばれた人物は存在しない。総仕上げを託された君たちの力で新しい南中学校の開幕を担っていただきたい。

雄然と 勝利の道を 歩み征け
南中健児の 誇りを胸に

多くの南中生と恩師。そして家族が君たちを応援している

白石市立南中学校PTA会長 滝深光昭

